

[例 示]

別紙様式2 (博士論文審査等内規第2条関係)

年 月 日

論 文 目 録

氏 名 山 口 太 郎

論 文

1. 題目 (英語による場合は、その和訳を併記すること)

〇〇〇に関する研究

2. 公表の方法及び時期

第何章は次の論文からなる。

著者名 (申請者名には下線) : 論文のタイトル. 学術雑誌名 (略さない)

巻 (号), 最初の頁——最後の頁, 年 (或いは, 印刷中, 投稿中, 投稿予定)

〔例〕 : 第2章と3章は次の論文からなる。

YAMAGUCHI Tarou, KANBE Ichiro, YAMADA Hanako : Complete
development of mosquito phases of Mariah Carey in vitro.
The Journal of Science and Technilogy, 38, 6989-6997, 2002

3. 冊 数 1 冊

(提出する学位論文の冊数 (例 : 6 冊) を記入するのではなく, 提出する学位論文が何冊で構成されているかを記入すること。通常は 1 冊。)

参考論文

- ※1. 参考論文がない場合, 必ず「参考論文なし」と記入すること
- ※2. 【予備審査 (内見)】参考論文を提出する場合は, 指導教員 (内見受理教授) の指示に従うこと。
- ※3. 【本審査】参考論文を提出する場合は, 1 題目, 2 冊数を同上のスタイルで記入したうえで, 学位論文と同数提出すること。(神大図書館等に送付されるので, ホッチキスなどで綴じること。)
- ※4. 【本審査】神大図書館等には送付する必要がないが, 審査委員にのみ送付したい論文がある場合は, 論文目録には「参考論文なし」と記入したうえで, 審査委員と同数提出すること。(複数の論文がある場合は, 各審査委員に配布しやすいように, 審査員毎に論文をクリップ等でまとめること)

記入上の注意

- ① 1枚に収まらない場合は別紙を加えてもよい。複数枚になる場合は左上をホッチキス止めすること。
- ② A4の用紙を使用すること。
- ③ 発表論文の著者名が多い場合は申請者名を含む数名を示し, 他はetal. とする。